

研究評価委員会分科会の各委員からの所見について(事前・中間評価)

課題名「 特殊な火災外力が想定される空間における火災性状の解明と評価手法の開発 」

1. 主な所見

- ・ 所見 : トンネルについては、延焼過程や追突時の延焼など駐車場と異なった見方が必要に思われる。スプリンクラー消火も行っているようであるが、車火災を対象にしているのか不明。
- ・ 所見 : 研究課題をコンソーシアム等外部との共同研究に依存しているため、具体的計画を立てにくいのが実情であると思うが、全体を一つの研究プロジェクトとしてまとめていく強力なリーダーシップを建築研究所で発揮していただきたい。
- ・ 所見 : 全般に火災外力の対象、適用空間、対策など広く計画されているが、実質的には自動車の燃焼実験とスプリンクラーによる燃焼低減効果の実験的研究のように思われる。残りの1年半でどこまで広げられるかという点に難しいように思う。計画を見直し、実施事項を絞って進めることが望まれる。なお、計画通りに可能ならば問題はないので誤解されないでいただきたい。逆に、特殊な外力が想定される空間、という点が多々出現してくる。長期的な研究開発計画として、その第一段階にすることが望ましいように思われる。その全体のビジョンを作っておいたほうが良い。その中で、当テーマ、今後のテーマを明確にするとともに、研究開発の管理点を明確にすることが望まれる。

2. 主な所見に対する回答

- ・ 所見 に対する回答: 「区画火災時の防火・消火設備による燃焼抑制効果」の担当者の異動に伴い当該課題を本研究課題と統合したために、研究内容に整合性の取れない状態が生じた。従って、駐車場及びトンネル空間火災に絞って計画を見直すことと致します。また、トンネル火災については、これまでに実施した車両燃焼実験による外力のデータベースに基づき、換気条件、躯体の作用応力、湿潤環境等々のパラメータを考慮した解析を行います。
- ・ 所見 に対する回答: 研究開発課題説明資料に記した通り、建築研究所主体で共同研究及びコンソーシアム等の体制で研究を推進致します。
- ・ 所見 に対する回答: 共通のご指摘と思われる研究内容の拡散に付きましては、駐車場及びトンネル空間に研究を限定して、共同研究及びコンソーシアムに参画企業・団体との共同体制で残された期間で研究を進め、評価方法として提案が可能な項目については、学会等で公表を行います。更に継続して研究を進めることが必要な項目については、これまでの研究の成果に基づき、平成17年度以降の次期研究を進めるための課題・問題点を整備することと致します。